

発行 **大竹辰治事務所**

日本共産党 区議会控室
大田区蒲田5-13-14
電話 5744-1477

事務所 大田区西蒲田5-9-12
電話 3735-2611

自宅 大田区東矢口3-11-19
電話 3736-4202

E-mail:tootake@apricot.ocn.ne.jp
http://tootake.jcp-ota.jp/

日本共産党大田区議会議員

大竹辰治 ミニレポート



ご意見・ご要望をお寄せください

開発推進を転換し、暮らし・福祉最優先の区政へ

第3回定例会 大竹区議

第3回定例会で大竹辰治区議が代表質問を行いました。

大竹区議は、2017年度決算について、一般会計の歳入総額は2583億円余、歳出総額は2512億円余、歳入歳出差引額は70億円余となりました。

更に区民に身近な事業が削減された決算

今決算年度では、施設使用料値上げの条例改正による負担増と、予算編成時に指定保養施設の助成金削減や宿泊日数の制限、いきいき高齢者入浴券事業の3割削減、基本健康診査の削減等、区民に身近な事業が削減されました。さら

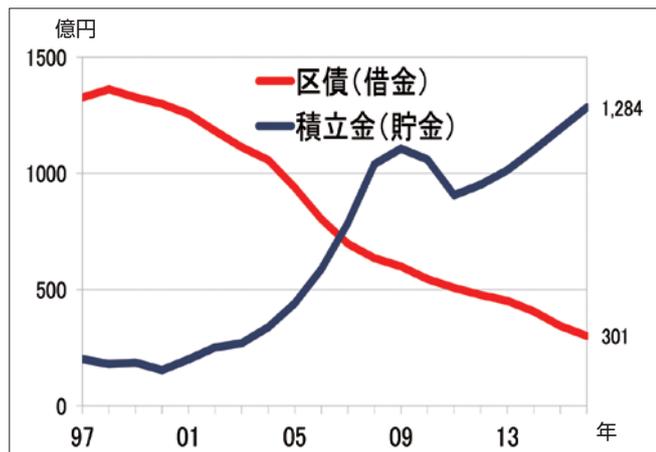
に今決算でも事業が削減されました。

区民の暮らしと営業に関わる支援では、多額の不用額(予算に計上しながら使われなかった額)を出しています。今決算で不用額は102億円余で、産業経費の不用額は13%5億円余で、福祉費の不用額が32億円余で一番多く全体の31.6%を占めています。

また、歳入で特別区民税15億円、特別区財政調整交付金18億円増などを借金返済にまわしていることです。特別区債の発行は、当初予算では40億円でしたが、補正予算で35億円余減額し、4億円余になりました。区民に35億円余の暮らし・福祉の予算が充実できたことになりました。

その結果合計で 135億円の貯め込み

その結果、年度末の特別区債は301億円余で前年度比44億円余減、逆に積立基金は、1284億円余で前年度比91億円余の増とな



り、なんと合計135億円が貯め込まれたこととなります。

法律相談

顧問弁護士による法律相談です。
お気軽にご利用ください(毎月第2水曜日)

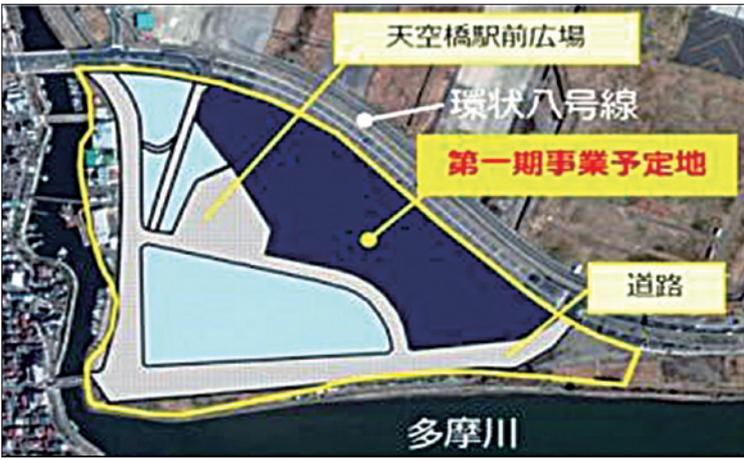
11月8日(水)・12月13日(水)
午後1時~3時

場所 大竹辰治事務所 (西蒲田大城通り)
事前にお電話ください ☎ 3735-2611

貯めこんだ税金を 大規模開発推進に

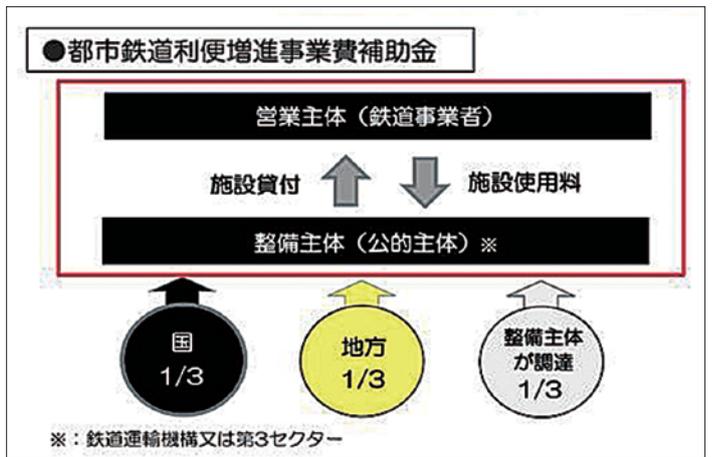
その使い道として考えられる第1は、羽田空港跡地第1ゾーンの用地取得です。

来年度は用地取得を予定しており、もともと区民の土地だった用地を取得するために多額の税金投入です。



第2の使い道と考えられるのは新空港線です。

来年度は、新空港線の整備推進



で、国等への手続き申請と実施設計となっており、大田区が第3セクター設立に参加することから、京急蒲田駅までの第1期工事1260億円のうち、国・地方・事業者で3分1ずつ420億円となりますが、地方分に加え事業者分の負担も担うことになり、多額の税金投入となります。

自治体の役割は、地方自治法第1条でも明らかのとおり、「福祉の増進に寄与する」ことです。大田区は、くらし・福祉最優先の区政への転換を求めました。

真の改革で区民の命と 健康を守る国保に

来年度からは新国保制度となり、区市町村から都道府県が保険者になります。住民負担増・給付費削減を推進する枠組みは変わらぬ。大幅な保険料値上げにもなりかねない新制度に対して、国・東京都などのような働きかけをしているのか区の対応を求めました。

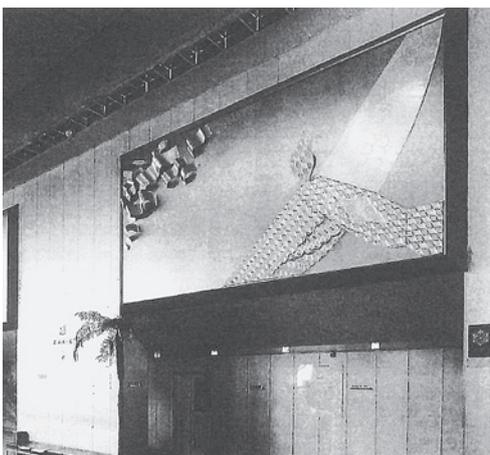
区長は、国には全国市長会を通じて、公費拡充を確実に実施すること。都には特別区長会として、国に対して国費の投入方法について検討するよう働きかけをすること等求めていると答弁しました。

公共施設としての 臨海斎場へ

毎年大田区は、公債費の償還（臨海斎場建設の借金）として3億円の負担をしていますが、来年度は償還が終了し、区の負担金が大幅に減ることが予想されます。

この負担金を区民に還元し、区民が必ず利用するので、区独自で区民の火葬料を無料にする助成制度を提案しました。

区長は、区独自の火葬料の助成



はしないと答えました。また、式場・炉・保冷庫の計画的な増設計画をつくり、将来を見通した増設を求めました。区長は、利用者の需要に合致した施設整備となるよう取り組んでいくと答えました。

音楽ホールこそ区民要求

来年4月から解体予定の大田区民センター跡地の複合施設は、一般的な多目的ホールでなく、音楽ホールと同規模の優れた音響効果が高いホールを、これからつくる実施設計で計画すべきです。

また、音楽ホール壁面を飾る、宮下芳子氏制作の金属レリーフ「飛翔」を複合施設に飾る等、保存を求めました。